

小・中連携による 「森のゼロエミッション」体験学習

兵庫県宍粟郡一宮町立一宮北中学校

1 学校の概要について

本校は、宍粟郡一宮町の北部に位置し、生徒数は、186名(男子100名、女子86名)で、四方山々に囲まれ、揖保川の清流と緑豊かな自然に恵まれた環境にある。校区は下三方小学校、三方小学校、繁盛小学校の3地区からなり、国道・県道沿いに南北約20kmで、支線も多く、広がりのある地域である。地域は、山間部で過疎化傾向である。地場産業として素麺業がさかんである。近年地域おこしとして、福知溪谷の観光化や家原遺跡公園の施設の充実等が進められている。また、町による森を核とした地域の活性化や資源循環型社会づくり施策も進められている。校区の人々の学校に対する愛着は強く、教育活動、学校行事等への協力・支援は積極的である。

美しい自然環境に恵まれ、静かなたたずまいの中で健やかに育った生徒は、温厚で素直な性格で、かつ総じて健康である。また、清掃や作業など身体を使い汗をかくことをいとわず、さらに、生徒会活動や部活動にも積極的に参加し、真面目に取り組むことが出来る。長距離通学や冬期積雪時の通学は厳しいものがあるが、頑張って通学している。特に遠距離通学の生徒には冬期の間(12月から3月)御形寮が開設され、寮生活をしている。

2 「森のゼロエミッション」体験学習について

(1) 実施要項概略

ア 目的

・「一宮町森のゼロエミッション構想」に基づき、郷土の森や関連施設を徒歩で巡り、また間伐材の裁断等の林業体験学習をすることによって、森林資源の保全や資源の循環型社会のあり方を学ぶ。

・小学生と中学生が、地域の人々と共同で体験学習をすることによって、集団の一員として守るべきルールやマナーを身につける。

イ 期日 第1期 平成14年10月 3日(木)

第2期 平成14年10月24日(木)

ウ 場所 森のゼロエミッション拠点地区「一宮町千町(せんちょう)総合作業施設」

エ 参加児童・生徒

第1期 下三方小学校5年生 18名(男子 4名、女子14名)

一宮北中学校1年1組 26名(男子13名、女子13名)

合計44名

第2期 三方小学校4年生 14名(男子 7名、女子 7名)

繁盛小学校4年生 14名(男子10名、女子 4名)

一宮北中学校1年2組 25名(男子12名、女子13名)

合計53名

オ グループ編成

第1期は、5班編成とし1班の構成人員は、小学生・中学生混成の8名ないし9名とする。

第2期は、6班編成とし1班の構成人員は、小学生・中学生混成の8名ないし9名とする。

カ 引率教諭及び指導員

第1期 下三方小学校教頭、教諭2名(内養護教諭1名)

一宮北中学校教頭、一宮北中学校教諭2名

一宮町役場ゼロエミッション室3名、指導員(地域ボランティア)2名

第2期 三方小学校教頭、教諭2名(内養護教諭1名)、繁盛小学校教諭1名

一宮北中学校教頭、教諭2名

一宮町役場ゼロエミッション室3名、指導員(地域ボランティア)2名

一宮町森林組合より1名

キ 行動日程

9:00 各学校出発

9:30 講話 一宮町役場 森のゼロエミッション推進室係長

指導員さん紹介

小学校児童代表あいさつ

10:00 作業場へ移動
 10:15 作業説明 指導員さん
 10:30 林業体験学習
 体験学習後 一宮北中学校生徒代表
 お礼の言葉

12:00 昼食
 12:50 小学生帰校
 中学生 ボランティア活動
 14:00 中学生帰校

ク 準備物

体操服(長袖、長ズボン)、軍手、タオル、水筒、
 弁当、靴下(履き替え用)



(2) 生徒事後作文

繁盛小学校 4年 男子

今日、千町へ木を切りに行きました。中学生の子とは、最初は話せなかったけどだんだん話せるようになりました。
 一番さいしょ木を切るのに反対のくの字に切ってあとは、反対から切ると、くの字の方にたおれて、「なるほど。すごい。」と思いました。初めチェーンソーで見せてもらって、次に、はんで分かれてのこぎりで切りました。くの字の時は、中学の子がやってくれて、反対から切るのは、ぼくたちがやりました。2番目にぼくがやりました。ちょっとやっただけでとつてもつかれました。最後は、先生がやって下さいました。「さすがに速い。」ついに、木がたおれました。ギギーと、すごく大きい音がしました。「やったー。」切ると、次に、おみやげに持って帰る木を切りました。一人でやったからとつてもつかれました。木の皮をむくのでおっちゃんむく道具を作ってくださいました。むいていたら力が入って、「も～あきたなあ。」と思ったけどがんばりました。
 でもとても楽しかったです。森は、人間のために必要だから大切にしたいです。

中学校 1年1組 女子

私をはじめてこのことについて聞いたのは、9月の末ぐらいでした。おじいさんに「10月3日の事、何か聞いてるか？」と家で言われ、はじめは「何の事？」と思いました。それが学校のれっきとした行事である事が分かりました。はっきり言って、そのことを知った感想というのは「ちょっとめんどくさいなあ…」でした。第一何をやるのかもよく分かっていなかったので、いまいち気乗りしませんでした。そして、何日かしたあとに、学年通信を通して、こういった企画なのかが分かりました。でも分かった後もあまり興味はわきませんでした。
 そして当日、バスに乗り千町へ。着いたとき、自然の多さ、空気や近くを流れる川のきれいさに感心しました。最初は嫌だったけど、「こんな所で作業するのも悪くないな」とはじめてこの行事に対する関心がわきました。いよいよ作業開始。広がっているこの大自然の中で、今日は木を切る作業をします。この日来ていた私のおじいさんは、こういった事には慣れていられるけれど、私は全くの初心者でちゃんと出来るか不安でした。みんな少しずつ切っていく、私の番になりました。あまり多くは切れなかったけど、自分の中ではまずまず出来たかなと思いました。そうしているうちに他の班の切った木が、私たちの班の近くに倒れてきました。ちゃんと忠告を受けていたので、安全な場所へ移動したけれど、やっぱり間近で倒れるのを見るのは、怖いものでした。いつもこんな危険な状況に置かれながら作業をしてられるんだと改めて感心しました。
 午後からは、2人1組ぐらいで、細い木を切る作業をしました。午前ほど大きな木ではないけれど、切るときは緊張しました。いくら細く小さい木でも、倒れる瞬間はハラハラします。その反面、木を切る事ができた達成感というものも確かにありました。そして、作業は終了しました。
 この「森のゼロエミッション」体験学習に参加して、普段体験できないようなことができたし、やる気のなかった私をここまで真剣にさせてくれました。これからこの経験を役立て、今後の生活等に生かしたいと思います。指導して下さった方々にも、とても感謝しています。本当に有り難うございました。

3 御形寮を利用した体験学習

(1) 御形寮について

御形寮は、旧3中学校(三方、下三方、繁盛)統合の条件として、冬期通学の困難な生徒のために、昭和44年12月に総面積519㎡、収容人員70名で建設された。その後、老

朽化が目立ち、平成12年12月に、総面積609㎡、収容人員40名の新しい寄宿舍が完成した。新寄宿舍は、1・2階ともに談話室、寮室予備室を配備して、入寮生徒がゆとりを持って生活できるように設計されている。また、一宮町が取り組んでいる「森のゼロエミッション」事業の一環として、木造建築に太陽光発電システムが導入されている。これは、寄宿舍の傾斜屋根を利用して太陽の光エネルギーを電気エネルギーに返還するもので、最大20kwの電力を供給することが出来る。寄宿舍の負荷電力として使用し、余剰電力が生じた場合は、電力会社に売電するシステムである。太陽光発電の導入により、環境問題に対する生きた教材となっている。

(2) 御形寮(家原塾)宿泊体験学習

ア 目的

- ・共同生活をする中で、友達との友情を深め、また共同生活をする上で、集団の一員として守るべきルールやマナーを身につける。
- ・1日の流れの中で、家庭での過ごし方や、家庭学習の習慣を正しく身につける。
- ・家原塾自体が自然にやさしい、太陽光発電で寮の電気をまかなっていることを知り、太陽光発電について正しく理解する。
- ・校区内巡りを取り入れ、広い郷土を知る機会とし、今後の総合的な学習の時間につなげる。



イ 期日 平成14年6月3日(月)～7日(金)

1年1組... 6月3日(月)～6月5日(水) 2泊3日
1年2組... 6月5日(水)～6月7日(金) 2泊3日

ウ 宿泊場所 御形寮(一宮北中学校内)

エ 参加生徒

第1学年 51名(男子25名、女子26名)

6月3日～6月5日 1組 男子13名 女子13名 計26名
教諭 3名(内養護教諭1名)
6月5日～6月7日 2組 男子12名 女子13名 計25名
教諭 3名(内養護教諭1名)

オ 行動日程

1年1組行動日程

月日	時間	活動内容
6月3日 (月)	7:30～8:00	<ul style="list-style-type: none"> ・1年1組カバンを各部屋に持っていく。 ・学校へ登校、普通授業、部活動 ・1年1組家原塾へ入塾、清掃、荷物の整理 ・夕食、空いた時間は自由時間 ・学習時間 ・入浴、自由時間 ・点呼 ・消灯、就寝
	8:00～17:45	
	18:00～18:30	
	18:30～19:30	
	19:30～21:30	
	21:30～22:30	
	22:30～	
	22:35	
6月4日 (火)	6:00～7:00	<ul style="list-style-type: none"> ・起床、点呼、洗面、登校準備 ・朝食、登校 ・朝練習 ・学級朝会 ・バスへ移動 ・名水めぐり(北中校区内をバスで見学) ・給食 ・感想文記入 ・学級会活動 1年2組は通常授業 ・部活動 ・清掃、荷物の整理 ・夕食、空いた時間は自由時間 ・学習時間 ・入浴、自由時間 ・点呼 ・消灯、就寝
	7:00～7:15	
	7:15～8:00	
	8:15～8:25	
	8:30～	
	9:00～12:00	
	12:20～13:10	
	13:10～14:00	
	14:10～15:00	
	15:40～17:45	
	18:00～18:30	
	18:30～19:30	
	19:30～21:30	
21:30～22:30		
22:30～		
22:35		

6月5日 (水)	6:00 ~ 7:00	・起床、点呼、洗面、荷物の整理と片付け、登校準備
	7:00 ~ 7:15	・朝食、登校
	7:15 ~ 8:00	・朝練習
	8:15 ~ 8:25	・学級朝会
	8:30 ~ 12:20	・1組、2組とも通常授業
	13:10 ~ 15:00	・1年生全員で学級対抗球技大会
	15:40 ~ 17:45	・部活動
	18:00 ~	・1年1組は下校

(3) 御形寮多目的活用事業(一宮町教育委員会主催による体験学習)

ア 趣旨

平成12年度に改築された御形寮の開設期間外(4月から11月)を家原塾と称して利用する。小・中学生が保護者の元から離れ、異年齢での共同生活や地域での体験活動を行うことによって、自主・自立の精神を養うとともに、異なった価値観に触れることによって心身ともに調和のとれた児童・生徒の育成を図る。

イ 事業の概要

ミニ自然学校 小学校4年生対象 町内5小学校 2泊3日
 異年齢交遊塾 小学校4年生から中学校3年生対象 町内5小学校、2中学校
 8月3日(土)から8月11日(日)8泊9日
 通学合宿 小学校4年生から中学校3年生対象 町内小学校、2中学校
 10月19日(土)から10月26日(土)7泊8日

ウ ミニ自然学校

学習の場を教室から豊かな自然のなかに移して、みんな仲良く力を合わせて生活することにより、お互いの信頼関係を深める協力する心、最後までやり抜く心や体を育てる事を目的とする。

エ 異年齢交遊塾 28名(男子10名、女子18名)参加

- ・普段体験することの少ない異年齢の集団生活をする。
- ・学校でわからない友達の良さを見つける。
- ・地域の方々の協力を頂くとともに交流を深める。

オ 通学合宿 40名(男子18名、女子22名)参加

新しい仲間と共同生活を体験することにより、望ましい人間関係の育成や自主自立の精神を養うことを目的とする。

4 活動の成果

この体験学習は、「総合的な学習の時間」に位置づけた、小学校と連携した異年齢集団による環境学習活動である。企画した当初は、ケガをした時の対処の仕方、ボランティア指導員の確保、輸送方法、トイレの確保等さまざまな不安や戸惑いがあったが、児童・生徒たちが一宮町の自然に触れ、山を取り巻く現状や地域産材の活用を身をもって経験したことは意義があると思われる。また、中学生が小学生を指導したり、小学生の補助をするなど協同意識が目覚めたのも大きい。

5 今後の課題

来年度は、高校とも交流し、小・中・高合同の体験学習を実施したいと考えている。また、一宮町ゼロエミッション室との連携を深め、教科学習との関連を具体化し、さらに充実した体験学習へと発展させていきたいと考えている。